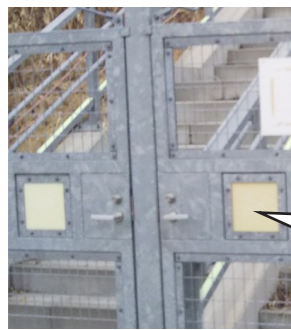


大楽毛地区の津波避難



この板を割って
カギを内側から
開けて入ります

大津波の時に高台に逃げる避難階段が
つくられました。しかし、この階段の入
り口はカギがかかったまま。「どうやっ
て開けるの？」との声が寄せられました。
カギの脇のプラスチック板はすぐに割れ
るものなので、そこを壊せば鍵が開けら
れる構造になっているのですが、それを
知らない人もいます。以前は説明板が
あったようです。
説明板設置を求める村上議員の要請
で、三月までに新しいものをつけること
になりました。

釧路新道の避難階段に説明板設置を要望 開発建設部が年度内設置を約束

介護の人材不足解消は、市政の最重要課題の一つです。

深刻化する介護の人手不足、 今こそ抜本的な対策が必要です



- ① 国に介護職員の大幅賃上げを求めよ。
- ② 介護の職員確保のため、市の福祉、教育、雇用分野を網羅し、養成機関や介護施設も加えた介護人材確保協議会をつくれ。
- ③ 市役所に介護人手不足解消のための専門職を置け。

介護施設の67%が職員が足りない悲鳴を上げています。人手不足の1番の原因は、他産業に比べ月10万円も少ない介護職員の賃金です。村上加ずしげ議員は、今度の議会で次の3つを提案します。

4月から音別町の認知症グループホームが休止の予定ですが、地域で不安の声が上がっています。市が公的責任を果たさうとしなかったのが一番の原因ですが、そのおもとには、介護現場の人手不足の深刻さがあります。

この事態を受けて、村上加ずしげ議員が独自に調査。すでに釧路市内などで介護施設の休止や、職員が確保できずに施設の開設そのものが見送られたケースが相次いでいることがわかりました。

施設の休止・開設見送りは、結果として介護サービスの不足をもたらします。手立てを講じないと、文字通り「保険あって介護なし」ということになりかねません。

音別認知症グループホーム以外にも休止次々

休止、開設見送りの施設

◆すでに休止している施設

- 小規模多機能施設わきあいあい（定員25）
- 認知症対応通所介護施設 2か所
- ぼれぼれ （定員5）
- あったかミニデイサービス（定員12）

◆人手不足で開設見送りとなった施設

- 看護小規模多機能型居宅介護施設 1か所

◆年度内にも休止予定の施設

- 認知症グループホームあいけあ（定員18）

釧路町でも、地域密着型特別養護老人ホームが職員を確保できず開設見送りになりました。



村上かずしげ 通信

2020. 2. 2 発行 日本共産党市議団
Tel.23-5212



はたやま和世